

当院で急性心膜炎の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

### 研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。お申し出以降は、参加拒否以前に収集した情報は削除します。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2000年1月1日～2025年12月31日の間に、急性心膜炎の診断で入院した患者様（ただし20歳以上）

【研究課題名】急性心膜炎の臨床像および薬物療法の有効性解明研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科 医員 藤野 雅史

#### 【研究の意義・目的】

本研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、急性心膜炎の患者様の特徴と予後を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来的に治療が困難な急性心膜炎の患者様に対する有効な治療法の確立に繋がることが期待されます。

#### 【利用する診療情報】

発症日、診断日、入院日、退院日、急性心膜炎の原疾患、年齢、性別、身長、体重、併存疾患、内服薬、既往歴、臨床的身体所見、画像検査所見（心電図、胸部レントゲン、CT画像、MRI画像、心エコー画像）、血液検査データ（炎症反応検査、心筋逸脱酵素、肝機能検査、腎機能検査、血糖検査、脂質検査、貧血検査、心不全指標、ホルモン検査、腫瘍マーカー、ウイルス抗体価、結核検査）、心嚢水の検査データ、心血管イベント（死亡、心膜炎の再発、入院、心タンポナーデ、心嚢穿刺、心嚢ドレナージ、心不全入院、心肺補助循環サポート）の発生有無、心血管イベントの発生日

#### 【研究の実施体制】

この研究は、当院のみで実施されます。

本研究で収集した情報は、機密性や安全性の措置が講じられたパソコンに入力します。

詳細を知りたい方は、下記の連絡先にご連絡をいただければ幸いです。

【研究期間】研究許可日より2031年12月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究機関の長の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター

心臓血管内科 冠疾患科 医師 藤野 雅史

06-6170-1070 内線 60192